

チャロン・ポカパン・フーズ

引き続き海外業務の強化へ、2016/12 通期は増収増益の見通し

タイ | 食品 | 業績レビュー

BLOOMBERG CPF:TB | REUTERS CPF.BK

- 2016/12 期 1Q は売上高が前年同期比 10%増の 1,055.13 億 THB、純利益が同 27%増の 37.64 億 THB と大幅な増収増益になった。
- 中国市場の売上高が減少したものの、主力のタイ市場での販売が堅調に推移し減少分を補った。また、ベトナムやその他地域は大幅に増収となり、全体の売上高を引き上げた。
- 2016/12 通期の市場予想は売上高が前期比 9.2%増の 4,599.20 億 THB、純利益が同 21%増の 133.81 億 THB である。

What is the news?

2016/12 期 1Q は売上高が前年同期比 10%増の 1,055.13 億 THB、EBITDA が同 2 倍の 100.75 億 THB、純利益が同 27%増の 37.64 億 THB と大幅な増収増益になった。中国市場の売上高が減少したものの、主力のタイ市場での販売が堅調に推移し減少分を補った。また、ベトナムやその他地域は大幅に増収となり、全体の売上高を引き上げた。

地域別の売上高では、タイ国内が前年同期比 6%増の 424.46 億 THB と堅調だった。国内、輸出とも堅調に推移した。また、ベトナムは同 14%増の 183.27 億 THB、インドを含むその他地域が同 46%増の 236.34 億 THB と好調に推移した。一方、中国の売上高が同 12%減の 211.06 億 THB と低調だった。事業別では家畜事業の売上高が同 10%増の 923.22 億 THB と 2 桁の増収。タイ国内が同 3%増にとどまったが、海外向けは同 14%増と売上高を押し上げた。また、水産事業の売上高が同 8%増の 131.91 億 THB と堅調だった。同事業の海外向けは同 5%減収となったものの、国内が同 23%増の 71.12 億 THB と好調だった。

How do we view this?

2016/12 通期の会社計画ではエビ事業に注力し、海外市場の開拓を強化する。2016/12 通期の設備投資額は 500 億 THB である。新聞報道によれば、みずほ銀行は日本企業の海外展開の支援を目的とする業務協力覚書をチャロン・ポカパン・グループ (CP グループ) と締結したと発表。同グループは日本の銀行と業務協力覚書を締結するのが初めてで、今後の事業展開が注目される。通期の市場予想は売上高が前期比 9.2%増の 4,599.20 億 THB、純利益が同 21%増の 133.81 億 THB である。

業績推移

※参考レート 1THB=2.9166円

事業年度	2013/12	2014/12	2015/12	2016/12F	2017/12F
売上高(百万THB)	389,251	426,039	421,355	459,920	495,539
純利益(百万THB)	7,065	10,562	11,059	13,381	12,917
EPS(THB)	0.96	1.43	1.50	1.71	1.63
PER(倍)	25.10	16.85	16.07	14.09	14.79
BPS(THB)	14.18	17.79	17.61	18.28	19.07
PBR(倍)	1.70	1.35	1.37	1.32	1.26
配当(THB)	0.50	0.75	0.75	0.76	0.87
配当利回り(%)	2.07	3.11	3.11	3.15	3.61

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

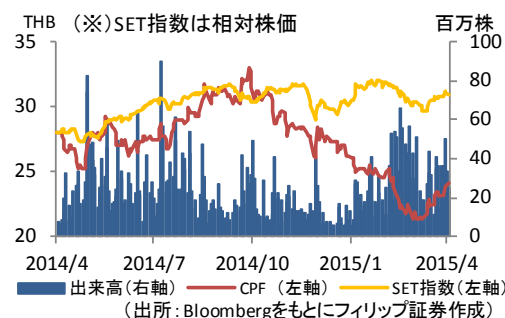
配当予想(THB) **0.76** (予想はBloomberg)
終値(THB) **24.10** 2016/6/28

会社概要

タイ最大のコングロマリット、チャロン・ポカパングループ (CP Group) 傘下の食品会社。主な製品は、鶏肉・豚肉・エビ・魚・卵・家鴨肉、加工冷凍食品など。アジア、中国の他、中東、ヨーロッパ、北米において牧畜、養殖、飼料工場、食品加工製造工場を展開している。グループ会社には7イレブンを国内で展開しているCP ALLがある。

企業データ(2016/6/28)

ベータ値 1.05
時価総額(百万THB) 220,674
企業価値=EV(百万THB) 496,673
3ヵ月平均売買代金(百万THB) 773



主要株主(2015/6)

(%)

- CP Merchandising 27.02
- Charoen Pokphand Group Co., Ltd 11.03
- Thai NVDR Co., Ltd 7.12

袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。